

2014年5月

発行：里山倶楽部緑台

—総合運動公園内—

Vol.18

里山倶楽部緑台

だより

炭素換算

80 億トン — **48** 億トン = **32** 億トン
 世界のCO2排出量 自然界が吸収できるCO2量 増えていくCO2量

定例会：竹林整備（3月1日）



花もあちらこちらで咲き始めた頃、竹林整備と菜の花まつりで使用する「カエルの笛」に適する材料を採取した。場所は、急傾斜で滑りやすいため、足元に充分気をつけて作業を行い、切り出した竹を少しずつ手渡しで平地にまで上げていった。

午後からは雨となり、笛に必要な数は確保できたため、竹林の作業は、中止となった。しかし、有志が残り、今後の染色に必要な定着液の準備のため、椿の枝・葉を収穫した。（E. O）



曲がった竹を発見！

環境体験学習

小学生に環境を学んでもらうために、一年を通して様々な体験教室をしている。

参加された子どもたちから、心のこもったお礼の手紙をいただいた。良い経験になってもらっているのが、とても嬉しい。



菜の花まつり（3月15日）



私たちの活動フィールドにマダケの竹林がある。竹林の整備はほとんどをチップパーにより処理しているが、一部を竹炭材とし、先端部を竹の笛（カエルの笛とリード笛）に有効利用している。



今回の菜の花まつりでも、例年同様、ブンブンごまと竹の笛をノコギリを使うのももどかしい小さい子ども達と一緒に作った。リードの高さを自分で選んで、いい音色がだせたときの笑顔がみたくて、今年も菜の花の開花状態もゆっくり観察できなかった。（T. T）

4月には、桜を見ながらの里山整備



定例会：里山整備（4月5日）

2グループに分かれて活動を行った（炭焼グループと、小学生の体験学習準備グループ）。

炭焼き

手順通りに炭焼き作業を進めた。火力調節（バルブを閉めたり、扉の開閉）や水の循環をさせながら30分おきに上下の窯の温度の記録と竹酢液の採取を行った。下部温度が250℃になったのでテストピースを入れて炭化を確認し作業終了。



小学生の体験学習準備

かかり木や蔓などで危険が無いかの点検を行った。階段の清掃、コシダ皆伐と木の間伐など、当日に事故のないように最善をつくした。



花のフェスティバル（4月29日）

朝から生憎の風雨。多くのテントが活動停止の中、訪れるお客さんも少ないと思われた。予定していたブーメラン（紙製）は中止、竹のリード笛のみ作る事にした。

予想に反し、11時頃からは多くの親子連れが並び、午後2時には材料切れのため、早々に終了の看板を

出した。悪天候にも関わらず、結果は予想外の100名余の対応となった。途中、久元神戸市長や田中公園砂防部部長の訪問もあった。

帰り途、あちこちから聞こえる笛の音を耳に、音が出た時の子供たちの嬉しそうな笑顔を思い起こした。（I.K.）

世界自然遺産・小笠原

自然が大好きな仲間8人で東京から28時間航路で父島、その後母島に渡る10日間の旅でした。今まで他の陸と繋がった事がないという特質から様々な固有種（植物・野鳥・爬虫類）を観察する事ができましたが、人が持ち込んだ外来種の広がりと言う難題を抱える島々でもありました。クジラ&イルカ・ウォッチング、カヤックで太平洋にこぎ出す等、海の楽しみも存分に味わってきました。海の色のおしきは格別でした。（R.K.）

ヒレンジャク

— 公園近くに飛来した鳥 —
ヤドリギやネズミモチの実を食べると言われていますが、柳の花芽も食べるようです。



— 今後の予定 —

定例会 毎月第1土曜日（9：30案内所集合）

2014年

7月 5日（土）定例会

8月 9日（土）ユニバ際

8月 下旬 魅力アップセミナー（水鉄砲）

9月 6日（土）定例会

活動内容は、神戸総合運動公園のホームページをご覧ください（ボランティアコーナー、イベントコーナー）

— 子供たちに持続可能な社会を託したい —

里山倶楽部緑台

私たちの活動主旨に賛同、ご協力頂ける方の参加をお待ちしています。

連絡は下記へお願いします。

TEL (078) 793-6002（総合運動公園案内所）

